

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅲ		
担当者(Instructors)	堀 篤実	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

授業や実習、日常体験の中でわいてきた興味を一つに絞り、卒業研究のテーマを決定する。そして、各々のテーマに沿った研究方法を確定し、研究計画を立てる。調査、実験などを行う。また、先行研究を収集し、独自性を見いだす。各自の卒業研究だけでなく他の学生の研究について討議を行うことで、受講生意見を交換し合い、お互いが学習することができる。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で授業を行う。授業内容に応じて、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション、フィールドワークを取り入れる。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	専門演習Ⅲの概要や受講の注意等について説明する。	<input type="checkbox"/>
第2回	研究の基礎	研究の基礎として、量的研究や質的研究などの研究のタイプについて学習する。	<input type="checkbox"/>
第3回	研究テーマの決定プロセス	問題意識をあたため、研究テーマの決定のプロセスを学習する。	<input type="checkbox"/>
第4回	研究情報の収集(1) 文献検索のコツ、先行研究の取り寄せ方	先行研究の文献検索のコツや先行研究の取り寄せ方について学習する。	<input type="checkbox"/>
第5回	研究情報の収集(2) 先行研究のまとめ方	先行研究の読み込み方やデータの読み方、まとめ方を学習する。	<input type="checkbox"/>
第6回	研究テーマの決定	各自の研究テーマ(心理など)の沿った先行研究を持ちより、文献を読み込み討論する。	<input type="checkbox"/>
第7回	先行研究の読み込む(1) 心理など	各自の研究テーマ(発達など)の沿った先行研究を持ちより、文献を読み込み討論する。	<input type="checkbox"/>
第8回	先行研究の読み込み(2) 発達など	各自の研究テーマを決め、グループ内で発表し、討論する。	<input type="checkbox"/>
第9回	研究のタイプ	各自のテーマに沿った研究のタイプを決め、グループ内で発表し、討論する。	<input type="checkbox"/>
第10回	量的研究(質問紙法など)	量的研究の進め方、まとめ方について理解する。	<input type="checkbox"/>
第11回	質的研究(事例研究など)	質的研究の進め方、まとめ方について理解する。	<input type="checkbox"/>
第12回	研究における倫理	研究を進めるうえでの許可の取り方や情報の扱いなどについて学習する。	<input type="checkbox"/>
第13回	研究計画の作成	各自のテーマで研究計画を作成する。	<input type="checkbox"/>
第14回	研究計画の検討	各自の研究計画をグループ内で発表し、討議を行う。	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	専門演習Ⅲのまとめと振り返りをし、夏休みの各自のテーマに沿った課題について話し合う。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

各自の卒業研究のテーマに沿った書籍・文献を読んでくる(2時間程度)。卒業論文を執筆するために必要だと思われる書籍・資料を読む(1時間程度)。授業後は授業での検討をもとに、各自のテーマについて文章にまとめる(1時間程度)。

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

出された課題にはコメントを書き入れ、次の授業時にフィードバックをする。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)		
区分 (Division)	DP区分 (DP division)	内容 (DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	先行研究や文献をもとに論文の書き方を理解することができる。
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	幅広い視野で研究課題を見つけ、卒業研究のテーマを設定し、計画を適切に立案することができる。

■成績評価 (Evaluation method)				
筆記試験 (Written exam)	実技試験 (Practical exam)	レポート試験 (Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他 (Other)
			50%	50%
授業内試験等 (具体的内容) (Specific contents) レポート提出 (50%)				

■テキスト (Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	必要に応じて資料を配布する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		